

議題1 「(仮称)横須賀市新環境基本計画」における「環境教育・環境学習」について

本日、ご議論していただきたいこと

前回までの当会議で「(仮称)横須賀市新環境基本計画」(以下、「新計画」という。)の策定にあたっては、現行「環境教育・環境学習マスタープラン」を新計画へ統合し、新計画における基本目標の1つとして『環境教育・環境学習』を掲げることや、施策や指標等についてご意見をいただけてきました。

本日は、令和3年9月30日(木)に第72回環境審議会「新計画」(案)について市長への答申がありましたので、新計画(案)の環境教育・環境学習の推進についてのご報告と、今後の予定についてご説明させていただきます。

1 前回会議から変更になった点

前回会議で「基本目標5 環境にやさしい社会の担い手を育むまちをめざします」の数値指標についてご意見をいただき、次のとおりとなりました。

③基本目標達成の目安となる指標

2029年度(令和11年度)指標

①環境教育・環境学習の推進体制づくり

- ・ 環境教育指導者登録数の増加を目指します
- ・ 里山ボランティア加入者の増加を目指します

②環境教育・環境学習の機会の充実

- ・ 市内の小中学校で自然体験学習の機会を提供します：**40校(年間5校)**
- ・ 環境教育・環境学習のカリキュラムの充実を図ります

①環境教育・環境学習の推進体制づくり

- ・ 環境教育指導者登録数の増加を目指します
市民ボランティア・市民団体・事業者を「環境教育指導者」として登録していただくことでテーマが増加し、幅広く環境について学べる機会が増えるとともに、指導者へ環境教育の場を提供します。
- ・ 里山ボランティア加入者の増加を目指します
里山講習会に参加したのち、引き続き活動を希望する方は、里山ボランティアとして登録するため、「行動を实践する人」を把握します。

②環境教育・環境学習の機会の充実

- ・市内の小学校で自然体験学習の機会を提供します：40校（年間5校）
市内の小学校で環境に関連した体験の機会を提供します。
- ・環境教育・環境学習のカリキュラムの充実を図ります
環境に関する情報を、必要な時に入手できるよう、情報発信をします。

2 新計画策定に関する今後の予定

令和3年11月 パブリック・コメント手続の実施

令和4年3月 新計画公表